

【サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者】

①目指す人材像

障がい児者の意向に寄り添ったサービスの提供に努め、他職種と連携しながらサービス向上のための人材育成を通して地域にも貢献し育ちあえる。

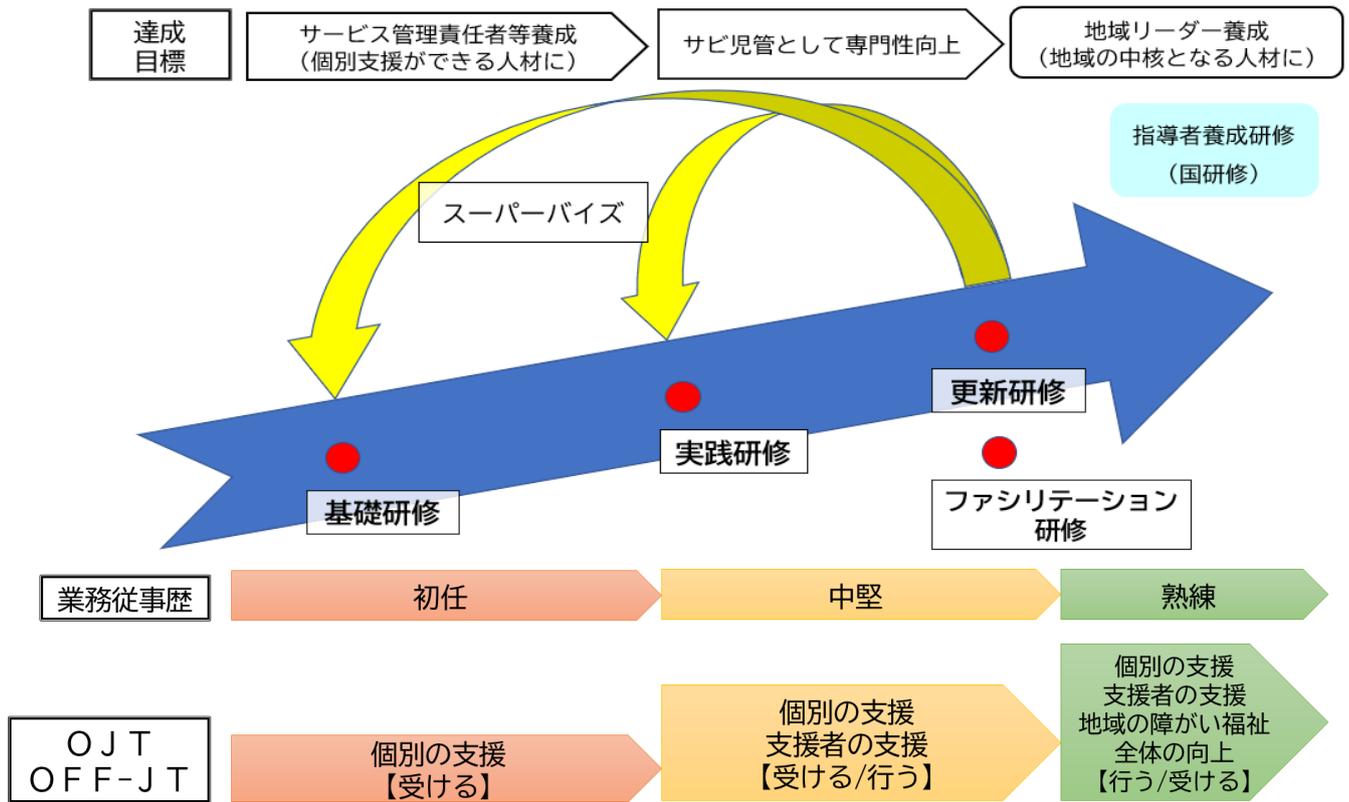
②キャリアイメージ（図4）

基礎研修を始めに実践研修、更新研修と業務従事歴に応じて必要な研修を受講しながら実践を重ねていくことが主なキャリア形成の流れとなります。これに、必要に応じてファシリテーション研修等のより専門的な研修の学びを生かし、さらなるサービスの質向上を目指します。

実践研修以降の中堅期は、実践研修、ファシリテーション研修で得た知識や経験を活かし人材育成の役割を担うことが求められます。

さらに、ファシリテーション研修修了以降は地域の中核的人材として、事業所内外の多職種と連携しながら研修の企画・立案、講師としての人材育成や地域づくりに貢献することが期待されます。

(図4) サービス管理責任者等におけるキャリアイメージ



※OJT:現場で実際に業務を行いながら、上司や先輩から必要な知識や技術を教わりながらキャリアアップを目指します。

本ビジョンで扱うOJTは障がい福祉従事者として支援に従事する <u>日常的な実践</u> を指します。法定研修の受講要件に定められたものとは異なります。	地域づくり		
	基礎研修 【目的】 アセスメント、個別支援計画作成、相談支援専門員との連携、多職種連絡会	実践研修 【目的】 支援会議の運営、サービス(支援)提供職員への助言・指導、個別支援計画作成の質の向上	更新研修 【目的】 施策の最新の動向、自己検証、スーパーバイズ、人材育成によるサービス(支援)の質の向上
			ファシリテーション研修※ 【目的】 ファシリテーション技術を習得し、自事業所や地域の会議活性やチーム作りに生かす。また、従事者の中核となる人材として、地域((自立支援)協議会等)で育ち合う環境(OJT)の体制整備を図る。

コラム

■福井県におけるサービス管理責任者等の育成について
 サービス管理責任者や児童発達支援管理責任者の業務は多岐にわたり、本当に大変な仕事ではありますが、利用児者の方やご家族の方の笑顔から元気をもらい、支援を通して働く職員と共に成長をしていきます。様々な出会いを通して作られた繋がりを大切に、日々の業務と研鑽に励んでいただきたいと思います。

※更新研修修了後から受講可能です。